

春の拡大月間スタート

今、私たちが求められている **仲間を増やそう**
春の活動者会議で学ぶ
3月24日



晴れた五月はメーデー（1日）憲法集会（3日）へ

5月1日（水）、中央メーデーは代々木公園、三多摩メーデーは井の頭公園です。
 5月3日（金・祝）、有明防災公園において、5・3憲法集会が開催されます。
 両日ともにCU東京は、のぼり旗を立てて参加します。ぜひ、お集まりください。
 ご一緒に参加して、集会を成功させましょう



こみゅーとニュースなど、組合員の皆さんに、様々な情報をお知らせします。公式アカウントのお友達登録を、お願いいたします。

確信が持てた竹信三恵子さんの講演 労働者の今と労働運動の役割 個人加盟組合はなぜ不可欠か



竹信さんは、日本だけが低迷している賃金は、声をあげないと上がりません。会社の善意だけが賃上げの原動力であるという錯覚にとらわれている傾向があります。女性の子育てを理由にした非正規化が平均賃金を下げてきました。労働者の切実な声が形となって出てくるためには、労働組合の存在は、不可欠であり、組合の外に向けても、味方を幅広く組織することが必要です。それが、個人加盟労働組合の役割、とお話しされました。

《基調報告》

書記長 白滝さん

基調報告を白滝書記長が、3月の執行委員会報告を兼ねて行いました。

日本の労働運動の組織化は、大きく立ち遅れているので、その中、CU東京が、1800人の組合を、今年前半に確立していくことを実現することが、要求運動の前進となると提案しました。結成15周年を迎えたCU東京は、地域に根を下ろすコミュニティ機能を基礎に、社会的市民的運動と連帯と共同を重視してきたことが、最大の特徴です。支部活動と仲間づくりの取り組みを交流して、要求運動の前進とたたかって仲間を増やすことを強化しようと訴えました。



《支部報告・経験交流》

こうとう 中村さん

労働者の駆け込み寺から居場所にしていきたい。組合員に、報告や予定を掲載したはがきニュースを送り、交流を大切にしています。



あだち 高島さん

相談員を増やして、相談体制の強化をはかっています。職場アンケートの取り組むことで、組合員の置かれている状況がわかりました。



ちよだ 内田さん

SNSの活用を積極的にしています。質のともなう組織拡大をしています。自分としても、活動力をさらに高めていきたいです。



三多摩 大江さん

8年前に結成し、組合員が300人を超えました。地域労連との連帯と強化が必要です。組織拡大と分会づくりを組織課題として奮闘します。



中野 牧野さん

中野駅での宣伝「ボトムアップ中野」を毎月行っています。若者の生活実態調査を行いました。中野区の公契約の報酬下限額の引き上げができた。



渋谷 松浦さん 丹野さん



渋谷区
労連女性
センター
の再建に
力を入れ
ました。

女性の感性を大切にしながら交流できる場所を大切にしています。



女性会議 伊東さん

女性会議は、ランチミーティング、見学会、国際女性デー、はたらく女性の東京集会など積極的に取り組んできました。

江戸川 新木さん

支部の活動の柱を持って運営しています。組合員同士の交流を広げていっています。



品川 池野さん

組合員が楽しみにしているレクリエーション企画しています。そのたびに組合員を増やしています。



台東 山田さん

新しい支部を作っています。組合の説明や要求、情勢を語る会開催で、50人の組合員めざして、6月8日に結成します。

北 松永さん

労働相談にも対応して、支部再建に向けて、奮闘中です。



「高島もとあきの展望」 第1回

今回は、「岸田首相のアメリカ国賓訪問」を見ていきたいと思います。アメリカと日本が仲良くするのはいいことかもしれませんが、今回岸田首相がお土産に持って行ったものは、「軍事費のGDP比2%へ増額」、「敵基地攻撃能力の保有」、「南西諸島の軍備増強」、「トマホークの購入」、日本の武器輸出解禁と運用指針の改定などで、物騒なものばかりです。

バイデン大統領はこうしたお土産を高く評価し、さらに「防衛産業の協力」のための定期協議をしようなどと、新たなミサイルの共同開発や生産、米艦艇や航空機の維持整備などを民間も含めて協議していこうと、日本の軍需産業を米戦略に組み込んでいく方向を打ち出しています。この日米共同声明では米軍と自衛隊を相互に運用しようと、指揮・統制の枠組みを向上しようとしています。

このことが実行されれば、米国の先制攻撃を行う軍事戦略に組み込まれて、平和憲法を持ちながら自衛隊が防衛以上の軍事行動をしなければならなくなる可能性が大きくなってしまいます。

これは、ロシアのウクライナ侵略や中国の東シナ海における強引な現状変更、尖閣列島周辺の行動などから「やむを得ず」と考える人もいるかと思いますが、実際は真逆で、戦争をしないと決めている国への攻撃は国際世論から見ても大変難しいものがあります。ところが「軍備を増強し、敵基地攻撃の力まで持ち」「米軍の指揮下で軍事行動をする」となれば、立派な戦争国家となっていきます。

今月号から高島素昭副委員長の連載が始まりました。どうぞ期待！

《活動報告》

満開の桜の下 花見交流会 三多摩協議会



4月7日、快晴、満開の桜の下、人が湧き出して来た小金井公園にCU東京三多摩の旗を立てての花見交流となった。

三多摩労連副議長の菅原さん、顧問の塚本弁護士、前進座の小

林さんも駆けつけて、大江書記長手作りの料理、チラシ寿司、おでん等の差し入れ等を囲んでの語らいでした。

春の拡大月間に入り、未加入の仲間の参加予定がキャンセル、成果は持ち越し。今後の活力に繋がった？花見交流でした。

(三多摩 宮本一)

花より団子 交流深める こうとう青年部



江東区労連青年部は3月31日(日)、都立木場公園でお花見交流会を開催しました。

今年は通常規模で開催ができ、青年部の仲間など総勢15名が参加しました。

当日は天気にも恵まれとても暖かく絶好のお花見日和でしたが、例年にくらべ桜の開花が遅く

一分咲きでした。それでも青年部は花より団子！久しぶりにみんなで集まり交流を深めることができました。参加者の近況や職場での話を通じて、交流することの大切さをあらためて認識することができた交流会でした。

江東区労連青年部も今年度から少しずつ交流企画を復活する予定です。

AGC社前行動 ユニオンちよだ



4月16日、千代田総行動でAGC本社前で、男女差別は許さないと、抗議、要請行動を行いました。

自民党のパーティー券裏金事件の幕引きはできず、国民の怒りは沸騰している。多くのパー券は大企業や業界団体が買っているが、それらの下請け・取引先にノルマの押し付けが回ってくる。縦はトリクルダウンの逆で、恩恵もおこぼれもないのに中小業者が泣く泣く買わされる。横から地方議員・地域の後援会からも「お付き合い」の同調圧力がかかる■票の割り当て・演説会動員・ポスター貼り、後援会費と党費の納入もセットで、ガッチリとした保守岩盤が出来上がる。単なる「政治と金」の問題ではない。権力が政治支配を構築する民主主義の問題の一端だ■職場支配の道具に就業規則もあるのではないか。ろくに閲覧もできず、説明も合意も曖昧のまま変えられてしまう。そして校則並みの細かな縛り、どうにでも取れる抽象的な圧力も含まれている■経営の勝手な解釈で、懲罰の先に配転だの降格だの、果ては退職勧奨の御膳立てが整う始末。働く者が協約を勝ち取る力が要だ。